(別添資料1)

事業所名		障害児通	所支援事業き	ぼうっこのぞる	<i>y</i>	支援プログ	ブラム	作成日	R7	年	1	月	10	日	
法人(事業所)理念		1)一人ひとりの意思と人権を尊重する 2)一人ひとりが、社会に一員として、ともに生きる社会づくりに参画する 3)一人ひとりが、明るく、楽しく、幸せに暮らせる地域づくり、ホームづくりを目指す													
支援方針		集団生活	に必要なスキル	習得を目標に、	ABA(応用行動分		ていけるように支援してい 「できない事」に着目する 「		どうしたら	ら「できる	るようにな	·るか」	を考え、	成功体験	
営業時間			10 時	<mark>0</mark> 分か	ら 17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり(なり	2)						
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・基本的生活スキルの獲得のため、入室準備では衣類の着脱や持ち物の管理など、マークや写真を使用し、わかりやすく構造化された空間の中で、「できること」 が増えるように支援する ・一人一人の特性に合わせた絵カードなどの視覚支援などを取り入れ、プログラムや手順などがわかりやすく構造化し支援する													
	運動・感覚		・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や運動・動作の習得、保有する感覚を活用できるように、サーキット運動や身体運動の活動などを通して支援する ・粗大運動や協調運動を中心に行い、職員が補助につき身体の使い方を楽しく身につけられるよう、一人一人に合わせた支援する												
		・集団生活の中で、場面に応じた適切な行動が増えるように、口頭での指示だけでなく、絵カードなども使用し様々な感覚も活用して行動することができるよう 支援する ・お友達や職員との活動や遊びを通じて、数、大きさ、重さ、色の違いや概念を楽しみながら習得できるよう支援する													
	言語 コミュニケーション	・実際の動作に簡単なことばを添えて伝えることで、物事と言葉を結び付け、自発的な発声や場面に合わせたことばの理解や表出に繋げられるよう支援する ・一人一人に合わせたアプローチ方法で発語の促しや正しい発音を身につけられるよう支援する ・他者とのコミュニケーション技術を身につけるため、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れおもちゃの貸し借りやあいさつなど日常生活で活用で きるスキルを身につけられるよう支援する ・就学に向けて、一人一人に応じた読み書き能力の向上のため、ビジョントレーニングや自己肯定感を高められるような声掛けも取り入れ支援する													
	人間関係・社会性	・他者と一緒に過ごす楽しさを感じることができるよう、はじめは保護者以外の大人(職員)との信頼関係を形成し、社会性や対人関係の芽生えを支援する ・お友達と集団の中で楽しく過ごすため、気持ちのコントロールや集団でのルールを身につけるため、ソーシャルスキルトレーニングを実施し遊びや集団での活動 に参加できるよう支援する													
家族支援		丁寧に伝図り、保・ペアレ	えるとともに、 :護者の悩み事へ ·ント・トレーニ 方などを学び、	児童の家庭や園 の助言を行う ングを行い、詞	園での様子を聞き 構義とグループワ	事業所での様子を 取り、情報共有を ークで子どもとの の解決策を一緒に	移行支援	・就園先や就学先での生活をスムーズに過ごすことができるように、事業所で実施している声掛けや支援方法について、情報共有したり、習得したスキルを実際の生活の中で活かすことができるように助言を行う					情報共		
	地域支援・地域連携	取り、児	・関係機関連携会議の機会を設け、児童のそれぞれの場面での様子を聞き 取り、児童が安心・安全に過ごせるように、関係機関で役割分担を行い、 対応方法の統一を図る ・相談技術の向上を図る							ニングを					
	主な行事等	ペアレント・トレーニング、保護者会、きぼうっこ合同芋ほり&バーベキュー大会、季節の行事、保護者参加型行事など													